

# 労働安全衛生・環境保全 活動報告 2012



不二建設株式会社

# はじめに

## 1. 労働安全衛生をめぐる状況

❖ 2009年まで連続して減少していた労働災害の死傷者数が2010年から一転して増加し、2012年もその勢いが止まりませんでした。8月末までに休業4日以上死傷者数が+7.9%(前年同月比)と3年連続して増加し、9月28日には「労働災害減少に向けた緊急要請」が厚労省から出されました。

❖ 「緊急要請」では、“33年ぶりに2年連続して増加、現状のままでは3年連続増加が憂慮される“との現状認識と共に、“着実に減少していた製造業・建設業“に対しては、“厳しい経営環境の中で安全衛生管理体制の劣化が懸念される“と表明されました。

❖ 当社では2010年に休業4日以上死傷者数の労働災害が発生しました。この事故以降、事故の原因となった現場作業における建設機械と人の接触防止対策をしっかりと行っています。ただ、監督官庁が懸念している通り、当社でもベテラン社員が退職を迎え、また国の施策による公共事業の増加が重なり、施工体制と共に安全管理体制が厳しい状況になってきています。

❖ 健康面では、ノロウイルスの感染に加え新たに中国の大気汚染の影響によるPM2.5問題が浮上してきました。更に、ここ数年特熱中症への対策も重要な活動になっています。

## 2. 環境保全をめぐる状況

❖ 今までの季節感が微妙にずれてきているような気温、降雨等が全国で見られ、今年も続いています。「温暖化」の影響と言われますが、当社でも建設機械を使う工事がメインであるだけに、工事で使用する建設機械等のCO2排出量を減らす活動を継続して行っています。

❖ 原発の停止に伴い電力供給の不安が叫ばれ“節電”が行われました。北海道電力の「月間カレンダー」により各営業所が所在するエリア毎の計画停電の有無や停止時間を確認し、業務（事務所、プラント）への影響が無いように準備をしましたが、計画停電はほとんど実施されずに済みました。

❖ 東北大震災の復興は環境と切り離せません。未だに、大量のガレキの処理や除染されていない地域が残されていて、大きな環境問題です。当社も以前支店、営業所を構えていた仙台市、名取市を中心に地元の会社との協力や復興JV等により復興を通じ環境問題の解決に携わっています。

## ～～～労働安全衛生活動～～～

### ■労働安全衛生目標■

2012年度は以下の目標を設定して活動しました。

#### ●労働災害の防止

- i. 休業4日以上災害発生“ゼロ”
- ii. ライフラインの破損“ゼロ”
- iii. 自転車・歩行者事故“ゼロ”

#### ●交通災害の防止

- i. 交通規制に伴う一般車による事故“ゼロ”
- ii. 社有車による事故“ゼロ”

#### ●健康増進活動の推進

### ■活動の概要■

#### 1. 教育

##### <資格教育>

毎年4～5月に内部・外部講師による主に工事で必要な資格教育を協力会社も含め実施しています。

4月16～17日の「職長・安全衛生責任者教育」 22名

5月9日、「刈払機取扱作業安全衛生教育」 19名

5月10～11日、「ローラーの運転の業務に係る特別教育」 18名

職長・安全衛生責任者教育



### <職員に対するシステム教育>

当社で進めている  
労働安全衛生マネジ  
メントシステム  
OHSAS18001 の活用に関  
して、4月12日に工事グル  
ープの職員を対象に勉強会  
を実施しました。内容は改訂  
した定型用紙の活用等です。



### <安全衛生環境大会>

5月18日に協力会社を含め100名の参加で実施しました。昨年  
まで環境月間に合わせ6月初めに開催していましたが、工事が本格化  
する前の5月に早めて開催しました。

昨年度の安全工事の表彰、全社安全スローガンの発表、安全講話、  
そして作年度の反省を踏まえて設定した今年度の活動目標の達成に向  
け全員で意思統一を行いました。



2012年度全社安全スローガン

「毎日変わる危険箇所 みんなで摘み取る危険の芽」

## 2. 工事における活動

工事を施工するにあたり、発注者との打合せ後に施工検討会を行い、現場の諸条件を考慮して安全・環境・品質の各目標とその実施内容を具体化し、「工事目標達成計画書」の作成を行っています。「施工計画書」と合わせ、これらにより工事を進めていきます。完成後は、発注者の評価結果を基に自己評価を行い「工事目標達成報告書」を作成します。

### <安全パトロール>

各工事の「工事目標達成計画書」に基づく安全管理体制は、毎月実施する安全パトロールで確認しています。また、全国的に実施される週間・月間・運動に合わせ全社安全パトロールも実施しています。

安全パトロールによる点検・確認結果はチェックリストを社内ネットで公開し、情報共有と共に改善活動に活用しています。

毎月の安全パトロール



全国安全週間 7月2日



社内掲示する「労働安全衛生・環境パトロール記録表」

[illegible]

管理部門では営業、発注者挨拶等全道を回ることが多いため、交通事故防止に対する取組が行われ、セーフティーラリーと結びつけた活動や「安全チェック表」により日々注意喚起を行う活動が実施されました。

## 【労働安全衛生目標の達成度】

達成度は下表の通りです。

| 項目        | 目 標                 | 結 果                  | 判定 | 備考 |
|-----------|---------------------|----------------------|----|----|
| 労働災害の防止   | 休業4日以上災害発生“ゼロ”      | 無休災害 1件              | ○  |    |
|           | ライフラインの破損“ゼロ”       | 埋設管破損 3件<br>架空線破損 2件 | ✖  |    |
|           | 自転車・歩行者事故“ゼロ”       |                      | ○  |    |
| 交通災害の防止   | 交通規制に伴う一般車による事故“ゼロ” |                      | ○  |    |
|           | 社有車による事故“ゼロ”        | 対物事故 3件<br>自損事故 5件   | ✖  |    |
| 健康増進活動の推進 |                     | 全体不明                 | ✖  |    |

### ○労働災害の防止

- ・「休業4日以上」の災害が無かったのは日々の活動の成果が実ったものと感じています。今後、無休も含めた災害“ゼロ”を目指します。
- ・ライフラインは、目で確認できる架空線の切断はまったく論外です。また、埋設管はその多くが管理者も位置を正確に（管理者によってはまったく）把握していない場合が多いのですが、災害発生時の利用者への影響を考え慎重に作業を行う必要があります。5件とも影響が小さかったのは幸いでしたが、過去の苦い経験を繰り返すことが無いように定期的に注意喚起を行います。

### ○交通災害の防止

- ・作業休止日に、歩道上に固定してあった標識が風にあおられて車道に移動し、走行してきた車両と衝突。“今まで何もなかったから”という経験を戒め、作業手順の見直しを進めます。
- ・社有車による物損事故が多数発生。大きな事故に繋がらないように定期的な注意喚起を行っていきます。しかし、協力会社による退勤時の対人事故が「交通ヒヤリマップ」通りのルート上で発生。細心の運転を行うように、交通安全の取組に創意工夫を持って対応します。

### ○健康増進活動の推進

社員の多くが高齢化し、人に仕事が付いて回ると言われる状況で日々の作業が行われています。具体的な実施内容や情報発信により意識を向上する計画的な取組が欠けていました。

## ～～～環境保全活動～～～

### ■環境目標■

2012年度は下記の目標を設定して活動しました。

#### ●CO2 排出量の削減

- i. 工事で使用する建設機械が排出するCO2 を13%削減する

#### ●資源の有効活用

- i. 主要資材のロスを削減する

合 材      2%以下

路盤材      25%以下

生コン      2%以下

#### ●社会貢献活動の推進

- i. 営業所・工事で、地域に根ざした活動  
(イベントへの参加、景観保持、環境保全)を1件以上行う

### ■活動の概要■

#### 1. 産業廃棄物の再利用

道内4か所（滝川市、雄武町、浦河町、長万部町）で産業廃棄物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊）を年間2～3万トン程度破碎処理して再生骨材を製造し、それを基に再生合材も製造しています。

また、滝川の食品リサイクル工場では滝川市近郊の産業廃棄物である食品残渣を回収して液肥（土壌活性液・ひまわり）の製造を行っています。

#### <産業廃棄物（ガレキ類）の中間処理>

|        |     | 廃 材    | 自社使用・販売 | 再生骨材   |
|--------|-----|--------|---------|--------|
| 2012.3 | 保管量 | 38,726 | —       | 8,780  |
| 2012   | 受入量 | 21,073 | —       | —      |
|        | 処理量 | 31,623 | 21,363  | 10,260 |
| 2013.3 | 保管量 | 28,140 | —       | 19,040 |

#### <産業廃棄物（食品残渣）>

残渣受入      55.7 t

液肥製造      101 m<sup>3</sup>

滝川. 破碎施設



## 2. 工事における活動

工事では、資源の有効活用として利益向上と結び付け主要資材である合材（アスファルト混合物）、路盤材等のロス削減を継続して実施しています。また、建設機械を多数使用することから、建設機械による CO2 排出量の削減も、同じく利益向上と結び付けて取り組んでいます。

## 3. 地域貢献活動

本店、本社では、それぞれ滝川クリーンデイ、ボランティアサポートプログラムに例年取り組んでいます。

営業所・工事では管轄する地域内で、小学校・地区会館等を対象に活動を行っています。

全社的な取り組みとしてリングプル、エコキャップの収集を継続して行っていますが、2012 年度はそれぞれ 13.3kg、36.2kg 集めました。

これらは、加盟する空知建設業協会で集約していますが、車椅子との交換を目指すリングプルは現在まで累計 450kg に達しました。

札幌本社  
ボランティア  
サポートプログラム



収集したリングプル、エコキャップ



滝川本店  
滝川クリーンデイ



経営体 新双誠 第 32 工区(倒木処理)



一般国道 36 号札幌市豊平第 2 電線共同溝設置工事

道路のゴミ拾い



アイスキャンドルの設置

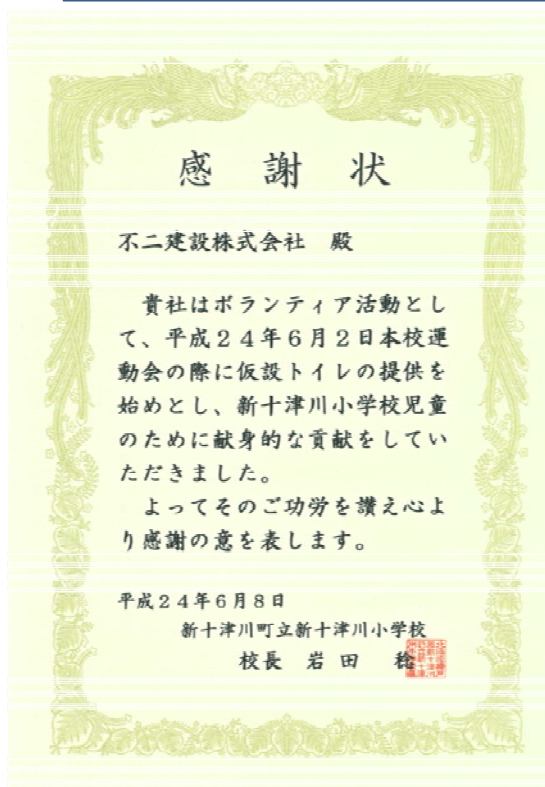


日胆営業所（小学校の敷地内の除雪、通学路の木の剪定）



空知営業所

毎年恒例となった小学校の運動会への仮設トイレの提供  
（建設業のアピールもしています）



## 【環境目標の達成度】

達成度は下表の通りです。

| 項 目        | 目 標                           |           | 結 果         | 判 定 | 備 考       |
|------------|-------------------------------|-----------|-------------|-----|-----------|
| CO2 排出量の削減 | 工事で使用する建設機械が排出するCO2 を 13%削減する |           | 13.9%       | ○   | 11 工事     |
| 資源の有効活用    | 主要資材のロスを削減する                  | 合 材 2%以下  | 3.5%        | ✖   | 14 工事     |
|            |                               | 路盤材 25%以下 | 19.4%       | ○   | 6 工事      |
|            |                               | 生コン 2%以下  | 7.5%        | ✖   | 2 工事      |
| 社会貢献活動の推進  | 営業所・工事で1件以上行う                 |           | 7営業所・8工事で実施 | △   | 8営業所・工事対象 |

### ○CO2 排出量の削減

11 工事のデータで目標を達成しました。繁忙期、年度末工期の工事等様々な条件の工事により年間平均のデータを把握することが今後の課題です。

本店・本社ではクールビズ等を行い冷暖房の温度調整を実施していますが、暖房使用6カ月間＋冷房使用2カ月間と長期に亘る機器の使用は避けられないのが現状です。

### ○資源の有効活用

合材・生コンで目標達成できませんでした。資源の有効活用は環境と共に利益にも密接に結びついた非常に重要な目標です。これらの資材は道路・舗装工事では使用量・金額どちらをとっても本当に主要な資材です。特に合材に関しては、製造・運搬・敷均し・転圧とそのすべてに機械が係わるため燃料の消費を伴い、CO2 の排出に直結。さらに、施工では mm 単位の精度が求められるため、絶対に達成されなければならないものです。現場の条件（施工規模、運搬距離、施工時期）に影響されますが、問題意識の更なるレベルアップが必要です。

### ○社会貢献活動の推進

ほぼ達成しました。社会貢献活動に関しては、総合評価方式での評価項目と言うことが活動を後押ししています。そのため、各発注者に対応する営業所が拠点となり活動が行われました。また、工期の長い工事では独自に地域に密着した取組（公共施設の草刈り、町内会等を対象のイベント）が行われました。